

東日本大震災復興支援
第67回国民体育大会 バスケットボール競技

MATCH No. 1B3

開催場所: 飛騨高山ビッグアリーナ
試合区分: 成年男子準々決勝
開催期日: 2012年10月1日 (月)
開始時間: 15:15

主審: 安西 郷史
副審: 阿部 聖



Team A 栃木	●	23 -1st- 31 17 -2nd- 30 17 -3rd- 23 23 -4th- 25	○	Team B 愛知
	80	109		

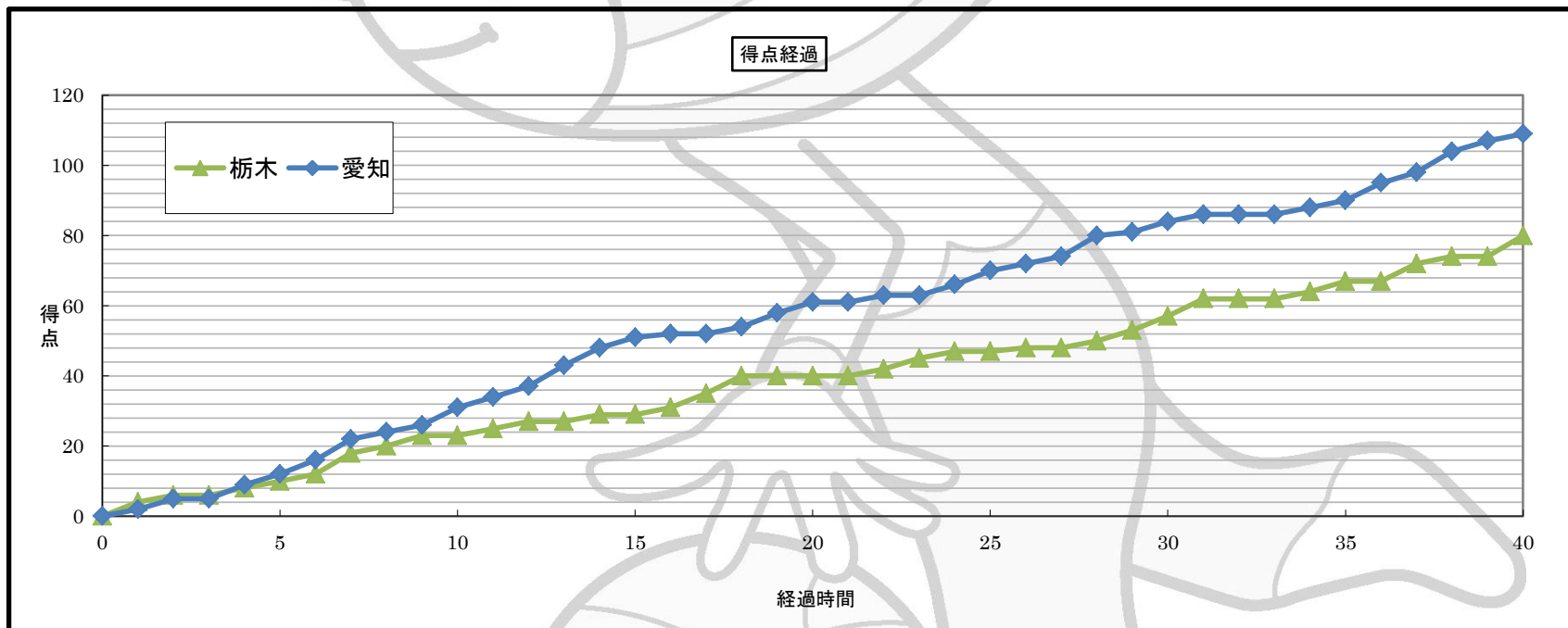
TEAM A		栃木							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4		荒井 尚光(C)	5	1	1	0	1	3	1
5		高崎 陽平	8	1	2	1	1	1	0
6	*	高村 成寿	13	0	5	3	1	0	1
7		輪島 射矢	-	-	-	-	-	-	-
8		吉澤 康太	2	0	1	0	0	1	0
9		宇津江 貴志	-	-	-	-	-	-	-
10	*	笠原 太志	7	0	3	1	2	4	5
11	*	中川 真雄	14	0	5	4	4	8	2
12	*	細谷 将司	9	3	0	0	5	5	2
13	*	遠藤 祐亮	15	1	6	0	4	1	2
14		上杉 翔	7	0	3	1	3	2	2
Coach		落合 嘉郎					1		
TOTAL			80	6	26	10	22	25	15

TEAM B		愛知							
No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	R	A
4	*	中村 将大	4	0	2	0	3	5	6
5	*	五十嵐 貴志	6	0	2	2	5	2	3
6	*	伊與田 俊(C)	17	2	3	5	0	8	10
7	*	横本 卓弥	12	1	4	1	1	3	3
8		溝口 秀人	11	3	1	0	1	2	0
9		鈴木 鉄夫	16	0	6	4	4	1	3
10		近藤 敏成	6	0	3	0	1	5	0
11	*	中野 邦彦	8	0	4	0	0	4	3
12		落合 恭兵	-	-	-	-	-	-	-
13		徳村 洋和	2	0	1	0	1	2	0
14		合瀬 教成	27	6	3	3	1	2	1
Coach		杉浦 良直					0		
TOTAL			109	12	29	15	17	34	29

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	06:43	12:37	24:11	-	-	-

Timeout (経過時間)	1Q・2Q		3Q・4Q		OT1	OT2
	16:47	17:46	34:37	-	-	-

*:スターター (C):キャプテン PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル R:リバウンド A:アシスト



栃木対愛知、栃木は2-3ゾーン、愛知はハーフマンツーマンディフェンスでスタート。栃木は#13、#11のアウトサイドシュート、#6のインサイドで得点する。対する愛知はインサイドで#4、アウトサイドで#9、#11、#5がシュートを決める。栃木は、途中ハーフマンツーマン、1-2-2ゾーンとディフェンスを変えるが、落ち着いてシュートを決めた愛知が23-31とリードして1Qを終了する。

2Q、栃木はディフェンスを3-2ゾーン、ハーフマンツーマン、オールコートマンツーマンと変えて相手の出足を止めようとする。しかし愛知は、#14、#8、#6と合わせて8本の3Pをはじめ、#9の速攻などで得点を伸ばす。愛知が40-61と点差を広げて前半を終了する。

3Q、栃木は#11、#13などが内外でシュートを決める。対する愛知はインサイドで#6、速攻で#7とそつなく攻め、点差をさらに広げる。57-84と愛知がリードしたまま3Qが終了する。

4Q、栃木は激しいオールコートマンツーマンディフェンスで巻き返しを図るが、ファウルがかさみ、愛知にフリースローを決められる。それでも、栃木は#13、#11が懸命にドライブを決め対抗する。愛知は#4を起点にした攻撃やアウトサイドシュートが決まり80-109の大量リードを守って準決勝に勝ち進んだ。相手の多彩なディフェンスに崩されず、冷静にシュートを決めた愛知の勝利であった。栃木の粘り強く攻撃した姿も称えたい。

記載責任者 田口 勢津子 (所属) 岐阜県バスケットボール協会